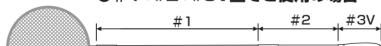


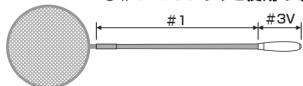
## ■玉ノ柄の長さバリエーションについて

### 小仕舞玉ノ柄一本半物の長さのバリエーション

- #1+#2+#3V全てご使用の場合

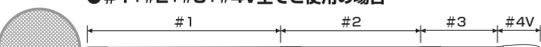


- #1+#3Vのみご使用の場合

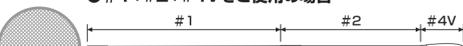


### 玉ノ柄二本物の長さのバリエーション

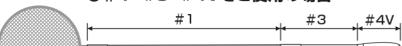
- #1+#2+#3+#4V全てご使用の場合



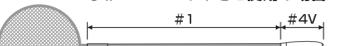
- #1+#2+#4Vをご使用の場合



- #1+#3+#4Vをご使用の場合



- #1+#4Vのみご使用の場合

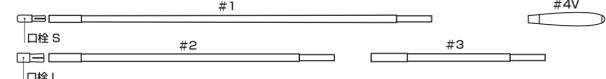


### 玉ノ柄のパーツ構成について

#### ●小仕舞玉ノ柄一本半物



#### ●玉ノ柄二本物



## ■修理部品に関するお願い

パーツを注文される際には必ず商品名と商品コードをお知らせください。

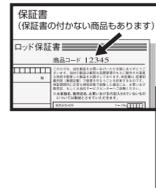
竿掛、玉ノ柄の「合わせ部分」(継ぎ部分)は、一本、一本、現品を合わせて、非常に精巧に作られています。

修理される際には、破損部分だけでなく、製品本体全部をお買い上げ小売店にお預けくださいますようお願いいたします。

お急ぎの場合、部品(パーツ)で注文される場合には、必ず商品名と商品コードをお知らせください。

商品コード番号は、保証書(保証書の付かない商品もあります)、パッケージのラベル等に記載されています。商品コード番号を控えて、修理の際には必ず御提示ください。

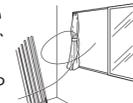
※商品コード番号は、数字の5ケタまたは6ケタになっています。(例)CODE No.12345またはCODE No.123456



●修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。修理対応期間につきましてはシマノカスタマーセンターHP (<https://www.shimanofishingservice.jp/>)をご覧ください

## ■釣行後のお手入れもお忘れなく

●釣行後は、汚れや塩分をきれいに落とすため、水気をふきとり、風通しのよいところで陰干しをしてください。陰干しする場合、竿は穂先から元半まで一本ずつにして干してください。



●車のトランクルームなどに長期間放置しないでください。

●高温・密閉状態での長期間放置は、竿の変形など大きなトラブルのもととなります。上記の要領で手入れしたあとは、風通しの良い場所にして干してください。



●タワシ・みがき粉・ベンジン及びシンナー等のご使用は絶対にご避けください。



●竿の汚れは、真水又はぬるま湯で洗い落とし、水気は乾いた布でよく拭きとってください。

注)市販のロッドクリーナーやワックス・洗剤は使用しないでください。

●竿の表面を布等で強くこすると、塗膜の種類によっては色落ちが発生することがございます。ただし、塗膜そのものが剥離したり、ロッドの機能に影響を及ぼす恐れはございませんので、あらかじめご了承くださいませ。また、衣服等に色が付く場合がありますのでご注意ください。

**本製品の仕上げについて**  
本製品は1本1本手仕上げをおこなっているため、製品によって色味、風合いが微妙に異なります。全ての製品がそれぞれ独自の表情を持っており、それが本製品の特徴です。

株式会社シマノ  
〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地

お問い合わせ  
TEL 0120-861130  
(受付時間)AM9:00~12:00 PM1:00~5:00(土、日、祝日は除く)

<http://www.shimano.com>  
新製品情報・釣り情報など、フィッシングライフに役立つ、シマノならではのオリジナル情報を発信しています。また、カタログのお申し込みも受け付けています。

●アフターサービスに関する情報やパーツ互換性の検索、メンテナンス動画などご視聴いただけるHPアドレス:  
<https://www.shimanofishingservice.jp/>



## SHIMANO HERA ROD

### 竿掛 玉ノ柄 取扱説明書

このたびは、シマノカーボンロッドをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。いかに軽くて丈夫なロッドでも、乱暴な取り扱いでは、竿を傷めてしまいます。釣りに対して、竿は大切な体の一部。この説明書をお読みの上、永らく、ご愛用いただきますよう、お願ひ申し上げます。

## SHIMANO

## ■安全上のご注意 ご使用前に必ずお読みください。

⚠ 危険	
⚠	高圧線への接近による放電や感電、さらには落雷による感電は、最悪の場合重大事故(感電死)を招く恐れがあります。尚、水に濡れたグラスロッドも同様の危険がありますのでご注意ください。 気象条件により、空気中に電気を帯びている場合があります。ビビリと電気を感ずるのはその為です。天候の変化等により危険を伴いますので、そうした場所での釣りはお避けください。落雷・感電による感電死を招く恐れがあります。
⚠	●電線との接触による感電 高圧線・線路・鉄橋等の電線による感電に注意してください。釣竿は素材特性上、電気をよく伝えます。特に電線等に接触、または、釣竿を近づけただけでも感電して死亡事故の原因となります。釣竿を移動する時は竿をたたみ、高圧線・線路・鉄橋等の電線の下または近くでは絶対に使用しないでください。
⚠	●落雷による感電 落雷による感電に注意してください。使用中、雷が発生した時は、ただちに釣竿から離れ、安全な場所に避難してください。また、雷の発生がなくても、釣竿から電気を感ずるようなときも同様で、ただちに釣竿から離れ、安全な場所に避難してください。
⚠	●釣竿以外の電線による感電 釣竿以外で釣竿を使用し、電線に触れる事故が発生しています。釣竿を使用する時は、周囲の安全に十分注意してください。
⚠ 警告	
⚠	●キャスティング(投げ)時の注意 キャスティング(投げ)の際は、周囲に人がいないか、十分に安全を確認してください。釣針が人にささったり、ルアー・フック、オモリ等が人に当たると非常に危険です。
⚠ 注意	
⚠	●図面のゆるめ方 釣竿の図面(継ぎ目が食い込んでいない時)は、継目の両側近くに、すべり止めを当てて握り、互いに逆方向へヒネリながら押して(抽出竿の場合)、継目をゆるめてください。その際、一気に力を入れると釣竿の継目に手を滑り込み、けがをするおそれがあります。
⚠	●竿の構造上、図面を完全に防止することはできません。図面をゆるめる時、強く竿を握ると竿が潰れて破損し、手等に怪我をする場合がありますのでご注意ください。
⚠	●図面をゆるめる時、ガイド部分を握って動かさず、はしらないでください。ガイドの変形や糸止部の破損の原因になり、手等に怪我をする場合がありますのでご注意ください。
⚠	●根掛かりの防止 根掛かり(水中、陸上での障害物に仕掛けが絡みはす状態)した時は、無理に竿をあおらないでください。竿が折れたり、外れた仕掛けが飛んで、けがをするおそれがあります。根掛かりは、出来るだけ糸を手にとり引っ張って糸を切ってください。その際、糸を手を切ることがありますので、手袋やタオルで手を保護してください。
⚠	●破損時の取り扱い方 使用中、万一釣竿が破損(折れ、割れ、欠け、剥離)した場合、破損した箇所を手などがをすおそれがあります。
⚠	●子供の手が届く所に置かないでください 誤使用による事故や怪我が発生する恐れがあります。
⚠	●釣竿を釣以外の目的に使用しないでください 事故や怪我につながる恐れがあります。
⚠	●竿の一部や穂先等を無理に曲げると折れることがあります 折れた竿の一部が反動で顔や体に当たり、怪我をする恐れがあります。釣りをする際には、安全のためグラス(偏光グラス)、帽子の着用をお勧めします。
⚠	●安全に釣りをして頂くために 万一、竿が破損してしまった場合、破損した竿の一部が反動で顔や体に当たり、怪我をする恐れがあります。釣りをする際には、安全のためグラス(偏光グラス)、帽子の着用をお勧めします。簡単なにはれないように、シールの上にコーティングしてありますので、はがさないようお願いいたします。尚、印刷されている機種もあります。

●竿の塗装仕上げについて  
竿は1本1本手作業で仕上げられています。そのため、商品により多少の色、質感等のバラツキが生じる場合がありますので、ご了承ください。

●竿の曲がりについて  
現在の竿生産技術上、グラスロッド、カーボンロッドの曲りを問わず各部分の曲がり100%排除することは不可能な状態です。特にカーボンロッドに於いては繊維自体の持つ強い剛性のため、竿全体に垂れ下がりが無いので従来のグラスロッドに比べ曲がりが多いと目立ちます。強度機能上は問題ありませんので、ご安心ください。

●改造後の責任は負いかねます。  
改造後の故障については、保証期間中であっても負いかねる場合があります。ご注意ください。

●万一の故障の時  
お買い上げの販売店又は、シマノ製品取扱販売店にお預けください。お近くにシマノ製品取扱販売店が無い場合や、販売店へ修理品を持ち込む以外の方法を検討される場合は、シマノダイレクト修理サービスもご利用頂けます。  
詳しくはシマノカスタマーセンターHP (<https://www.shimanofishingservice.jp/>)をご覧ください。その際、保証書付きの商品は保証書とお買い上げ年月日の記載がある購入証明を添えてください。

※この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造中止後6年間としています。性能部とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。性能部以外には製造中止後6年以内でも供給できない可能性があります。

## ■使用上のご注意

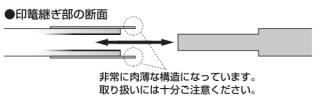
### 印籠継ぎ部について

竿掛、玉ノ柄の印籠継ぎ部(継ぎ部分)の端部は、非常に内溝な構造になっております。取り扱いには十分ご注意ください。

●継いだり、抜いたりの際は十分ご注意ください。

●端部を機橋、舟べり等堅い物に当たらないでください。

仕舞う時は、必ず口栓をして仕舞ってください。



### 口栓を外す時の注意

●口栓を外す時は、真上に引き抜くようにはずしてください。無理にひねったり、こじりすると玉口部分を傷つけることがあります。



### 竿の仕舞時の注意

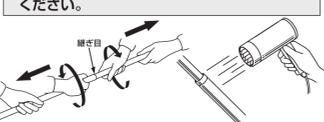
●竿を仕舞う時は、まず元半から順に一本ずつ抜いてください。その時にまっすぐ抜こうとせず、手で少しひねってゆるめてから抜いてください。

●竿の表面についた水分はきれいに拭き取ってから仕舞ってください。濡れたまま仕舞いますと、竿の内面に水分が残る、塗装不良の原因になります。特に雨の日にはご注意ください。

### 竿が固着した場合

すべり止めにゴムシートなどを当てて図のように2人で向き合い、継ぎ目に近いところをしっかりと握ります。そしてお互いに逆方向にヒネリながら抜いてください。水気によって固着したときは、ドライヤーなどで乾かすと納めやすくなります。

### ドライヤーを竿に近づけすぎないようにしてください。



●竿の固着は、水が付着したときなどによって多少は起こります。上記の方法ですれぬ場合は無理にはずさずとせず、裏面のシマノサービスにご相談ください。

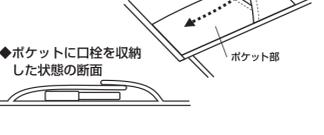
### 竿袋のご使用について

●口栓ポケットの使い方  
竿袋には口栓を収納しておくポケットが付いています。口栓を紛失しないようにこのポケットに入れておくことと便利です。なお、このポケットは脱落防止のための密封機構は付いていませんので口栓を収納する際はしっかりと奥まで入れてください。



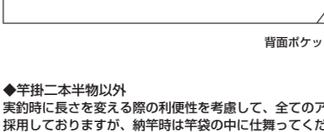
### 口栓袋

●口栓袋  
本製品には口栓袋が付属しています。竿袋上部にも口栓ポケットが付いていますが、収納する口栓が多い時などに口栓袋をご使用ください。



### 背面ポケットの使い方

●竿掛二本半物  
#1及び#2と#3を継いだ2本を竿袋の中に、残りの#2を背面ポケットに仕舞ってください。



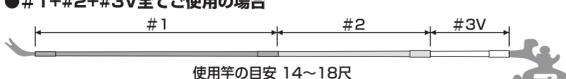
### 竿掛二本半物以外

●竿掛二本半物以外  
実釣時に長さを変える際の利便性を考慮して、全てのアイテムに背面ポケットを採用しておりますが、納竿時は竿袋の中に仕舞ってください。

## ■竿掛の長さバリエーションについて

### 小仕舞竿掛二本物の長さのバリエーション

- #1+#2+#3V全てご使用の場合



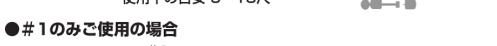
- #1+#2をご使用の場合



- #1+#3Vをご使用の場合



- #1のみご使用の場合

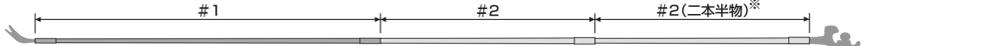


### 竿掛二本物/竿掛二本半物の長さのバリエーション

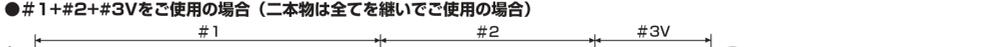
- #1+#2+#2(二本半物)+#3V全てご使用の場合※



- #1+#2+#2(二本半物)をご使用の場合※



- #1+#2+#3Vをご使用の場合(二本物は全てを継いでご使用の場合)



- #1+#2をご使用の場合



- #1+#3Vをご使用の場合



- #1のみご使用の場合



### 竿掛のパーツ構成について

#### ●小仕舞竿掛二本物



#### ●竿掛二本物/竿掛二本半物



※#2を二本用いたイラストは、二本半物だけのバリエーションです。